

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:( 鉄砲伝来と火縄銃 )

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み、説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。

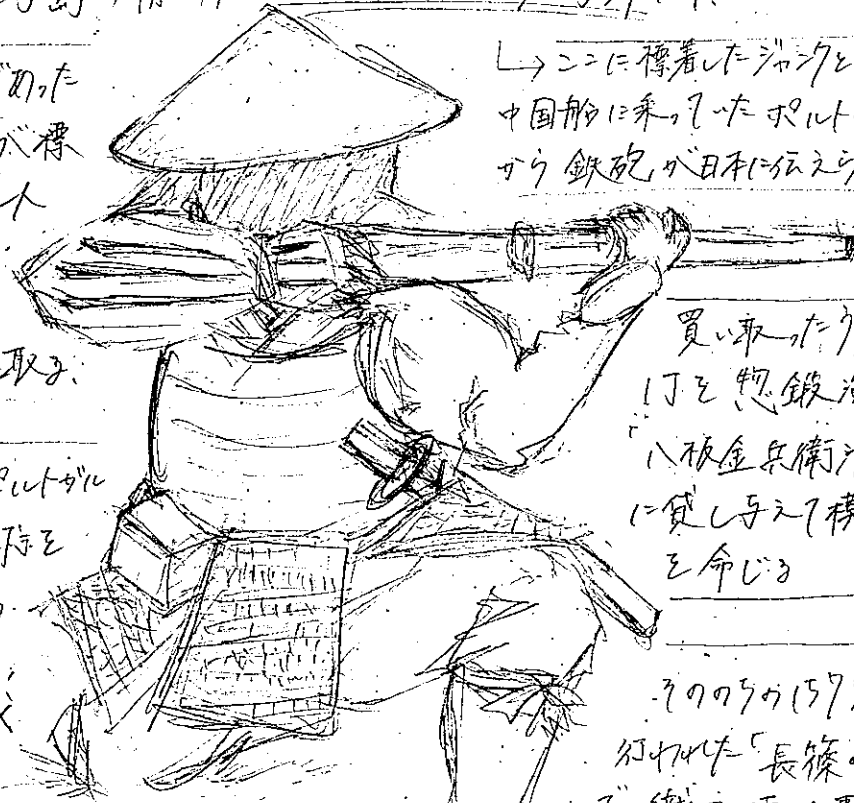
1547年  
(以政子算の2年)

# 鉄砲伝来



種子島の南端、門倉岬前久次海岸にて。

種子島領主(初代)「種子島時尧」が標着したポルトガル人から鉄砲を2丁と現在の約8800丁を買取り。



→ここは標着したポルトガル人中国船に乗ったポルトガル人が鉄砲を日本に伝えた。

買取りは約1丁と惣鍛冶師に依頼金兵衛清定に貸し与えて模倣を命じた。

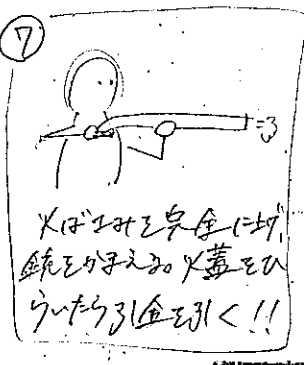
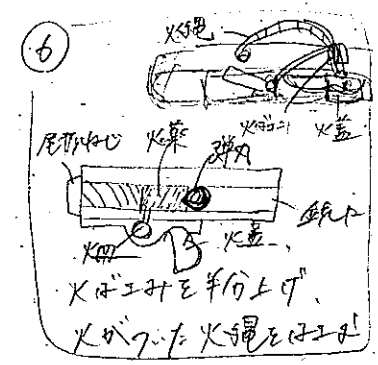
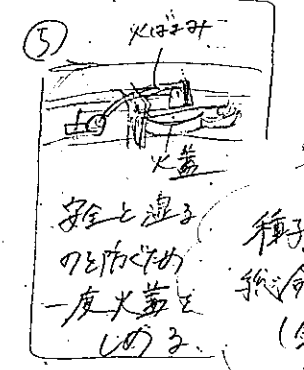
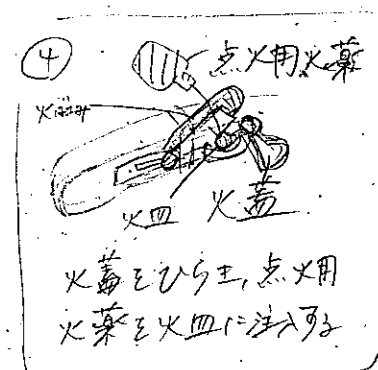
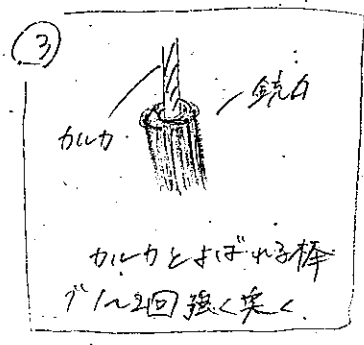
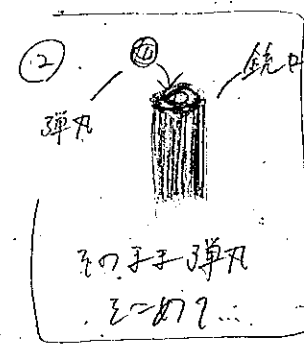
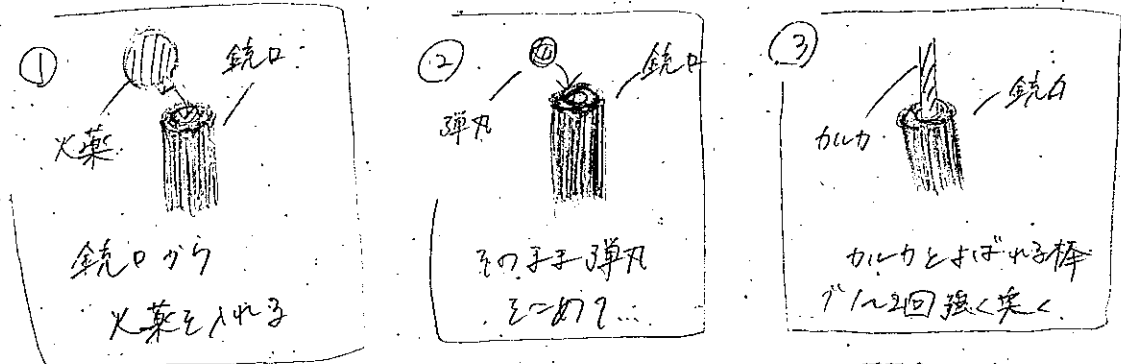
その約157年に、長篠の戦いで、織田・徳川連合軍が約300丁の火縄銃を三河射撃し敵軍の武田軍を敗走させた。

再来島したポルトガル人より製造技術を学び、命令が下り、8ヶ月にして、国産銃完成。

1549年、薩摩国の「加治平城」の城主「島津貴久」が攻め落とした。「黒川崎」の戦いにて、日本で初めて火縄銃が使用された。

伝来から約30年でヨーロッパより火縄銃を所有する国に!!  
更に改良を続け、日本独自の「種子島銃」とよばれる火縄銃が完成

誰で戦国武将に?! ~火縄銃発射の7つ(手順)~



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)  
 (例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)  
 ・西之表市役所HP (http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html).  
 ・刀剣7-14「鉄砲伝来の諸説」「火縄銃の発射方法」  
 ・鹿児島県HP

評価  
A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。